NIE特集

Newspaper In Education

毎月第2・4火曜日発行

東二番丁小

学校名　仙台市立東二番丁小学校　　校　長　今野　英二
所在地　仙台市青葉区一番町2の1の4　　児　童　134人

講座の企画・運営に力

市民センターの仕事を教えて！

知り隊

年間利用者は10万人

わたしたちの学校の隣には、仙台市青葉区中央市民センターがあります。市民センター職員の方々には市民センターで行う講座以外にも、総合的な学習の時間や図工の授業などでお世話になっています。今回、わたしたちは、職員の方々の仕事についてくわしく知りたいと思い、取材をすることにしました。

わたしたちは、市民センターを訪問し、職員の星恭典さんと舟野由美さんにインタビューをしてみました。お二人の説明によると、青葉区中央市民センターの一年間の利用者（平成十九年度）は、約十万人になるそうです。また、仙台駅から近いということもあり、東京や静岡など他県から利用する人もいるそうです。わたしたちは、こんなにたくさんの利用者がいるとは思っていなかったので、びっくりしました。

市民センターの主な仕事の中には、さまざまな年齢の人たちに喜ばれ、より良い地域づくりにつながる講座を開くことがあります。例えば「何か人の役に立つことをしてみたい」というがんばり、優しさがあってこそ成り立つ仕事なのだと感じました。

今回のインタビューを通して、市民センターで働く人たちの仕事は、利用者のことをよく考えたものであること、そして職員のみなさんの講座への強い思いや人たちのために、ボランティアの講座を考えたり、地域の歴史について知ったりと話を聞いているうちに、このような講座を行うために十九人の職員のみなさんが協力して働いていることや、大変だけれども、その中に喜びや楽しさを見つけながらできるやりがいのある仕事だということが分かりました。

◇　◇

市民センターの仕事について説明してくれた星さん（手前左）と舟野さん（同右）

文・清水樹、今野志織、菅原理絵（6年）

ぼくのサツマイモ
1年・上野真之

動く町　4年・佐藤うらら

宝の番人　6年・加藤七海

うきうきキャンバス

自動販売機アパート　5年・津川詩花

戦艦長門　3年・及川仁

たなばたまつり
2年・岡部みちる

教え隊

焼けた株 再び大木に

校木のクスノキ

仙台市の名木百選や第1回仙台市景観賞にも選ばれているクスノキ

ぼくたちの学校の校木は、クスノキです。このクスノキは、学校が創立されてから24年後の1898年に植えられました。しかし、1945年の仙台大空襲で校舎とともに燃えてしまいました。ところが3年後の48年、校庭に埋もれていた株の中から新しい芽が出てきました。そして、その後も仙台の復興とともに伸び続け、今では高さ10㍍を超えるほどの大きさになりました。これがぼくたちの学校のシンボル、自慢のクスノキです。

文・佐藤邦哉（6年）

言い隊

■緑増やし温暖化防止■

オゾン層が破壊され地表に到達する有害な紫外線が増えている問題を知っていますか。この問題を解決するために、原因とされるフロンガスの使用を制限する条約がつくられ、改善を見せています。

また、生活の中で出される大量の二酸化炭素が気温を上昇させる地球温暖化が深刻な問題になっています。このまま温暖化が進むと、異常気象や農業への影響など大変な被害が出てしまいます。

解決策として、ウォームビズや電気の使用量を見直す方法などがあります。ぼくは、森林を増やすのも良い方法だと思うので、宮城の自然を守りながら二酸化炭素を減らしていくべきだと思います。

（6年・菊地伸一）

■公共マナー見直しを■

学校の登下校時に、ごみのポイ捨てや信号無視などのマナー違反を見かけます。また、ひどい場合には、マナー違反を注意されても、無視したり文句を言ったりする人を見かけます。何かがおかしくはないでしょうか。これは子どもだけでなく、大人にも当てはまることです。

ごみのポイ捨てがあった場合、誰がそのごみを拾うのでしょうか。以前、ごみ拾いをする活動に参加したことがあります。空き缶や紙くずなどのごみがたくさん集まり残念に思いました。捨てた人は、捨てたごみが消えてなくなると思っているのでしょうか。みなさん、もう一度公共のマナーを見直してみませんか。

（6年・引地涼介）

編集後記

「新聞記者になってみよう！」という先生の一言で、わたしたち六年一組みんなによる新聞作りが始まりました。思いも使って取り組みました。思い出に残る新聞を作ることができてよかったです。

四つのグループに分かれて役割分担をし、記事を書き始めました。市民センターへ取材に行ったり、クスノキや図工の作品を写真に撮ったりしました。新聞作りは、思っていたよりも大変で、休み時間も、稲葉俊力、伊藤篤紀、伊藤雄紀、岩渕友里、清水樹、佐藤里咲（6年）

題字デザイン　岩渕友里（6年）

〈編集委員〉◇大村周平、田中英祐、佐藤学、菊地伸一、佐藤龍、菅原理絵、西村早織、今野志織、田村遼太郎、佐藤邦哉、栗井ことみ、加藤七海、大島優衣、太田賢斗、伊藤篤紀、岩渕友里、清水樹、佐藤里咲（6年）

〈指導教諭〉◇石橋雅之

次回（27日）は西山小（仙台市）と真山小（大崎市）です。

申し込みやお問い合わせは、河北ＮＩＥ推進委員会事務局022（211）1331、ファクス022（211）1339へ。